

企画戦略委員	上茶 雄 (NTT)	登録委員数	18/(1グループ)6
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：大久保 知明 (NTT)、 副委員長：井上 統之 (KDDI)	図解	
活動の目的・意義	電気通信番号計画に関し、ITU-T SG2に対応する国際標準化と、国内標準化を実施。IoT/M2Mサービスの進展とグローバル化、ネットワークのIPマイグレーションの進展等への番号計画の柔軟な対応と新規・改訂勧告を策定。今後のさらなるサービスとネットワークの発展に向け、有限な番号リソースが有効に活用されるように進める。		
活動する上での課題	IoT/M2M用の番号計画、IMSIの割当管理とeSIMへの対応、番号ポータビリティ及びキャリアスウィッチング、番号誤用と発番号偽装対策、国際ローミングと領域外使用、IINの割当、eCallへの対応等の課題が挙げられる。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	- 国内動向に関連するITU-T SG2に加え、関連するETSI_NTECH、ECC_NaN、IETF等の動向を見極め、番号関連標準の作成、修正等の必要性について判断 - 上記判断により、必要に応じてTTCDキュメント作成に着手 - E.164番号に関するインストラクションに関するテクニカルレポートについて、29,30年度制定した版の続編となる完成版についての出版を進め、必要に応じてテクニカルレポートリリース、セミナー開催/講演等を通じた普及活動を実施		
国内外標準化団体動向	- ETSI_NTECHでは、網のIP化における番号ポータビリティ方式などの課題が検討されている。 - IETFでは、発番号偽装への対策方法を検討するSTIR（Secure Telephone Identity Revisited）WGにて、技術的な対策をまとめるドラフトを中心に議論が継続されている。また、MODERN WGにて番号を管理する団体から通信事業者番号への割当、取得、返却をオンラインで行うための方式をまとめる議論が継続されている。 - 欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)の配下ECCの番号検討組織であるNaN（Numbering and Networks）では、欧州各国の、番号誤用と発番号詐称の課題などの議論が行われ、今後の各国の取り組み方針(Best Practices)がまとめられている。また、Numbering Naming and Addressingの長期的展開が検討され、これに向けた課題が検討されている。		
関連する専門委員会	・信号制御専門委員会：番号ポータビリティ関連の事項		

ITU-T SG2 (電気通信番号の標準化)

国際勧告作成・改訂

- 番号計画 (E.164勧告)
- 番号ポータビリティ(E.164Sup.)
- IMSIの割当・管理 (E.212勧告)
- 番号誤用 (E.156勧告)
- 国際発番号 (E.157勧告)
- IoT識別子 (E.IoT-.NNAI)
- IoTとローミング (領域外使用の検討)
- IINの割当・管理 (E.118勧告)
- eCallへのNW対処の促進

ETSI_NTECH
(欧州組織/世界レベル)

会合参加

- IP識別子とE.164番号のマッピング
- オールIP化での番号ポータビリティ

CEPT_ECC_NaN
(欧州主管庁技術検討)

会合参加

- 発番号偽装対策
- キャリアスウィッチング
- eCall番号
- 番号の領域外使用

IETF
(IP技術標準化)

動向注視

- 発番号偽装対策 (STIR/SHAKEN)
- IP番号管理 (MODERN)

GSMA
(モバイルの商用検討)

リエゾン

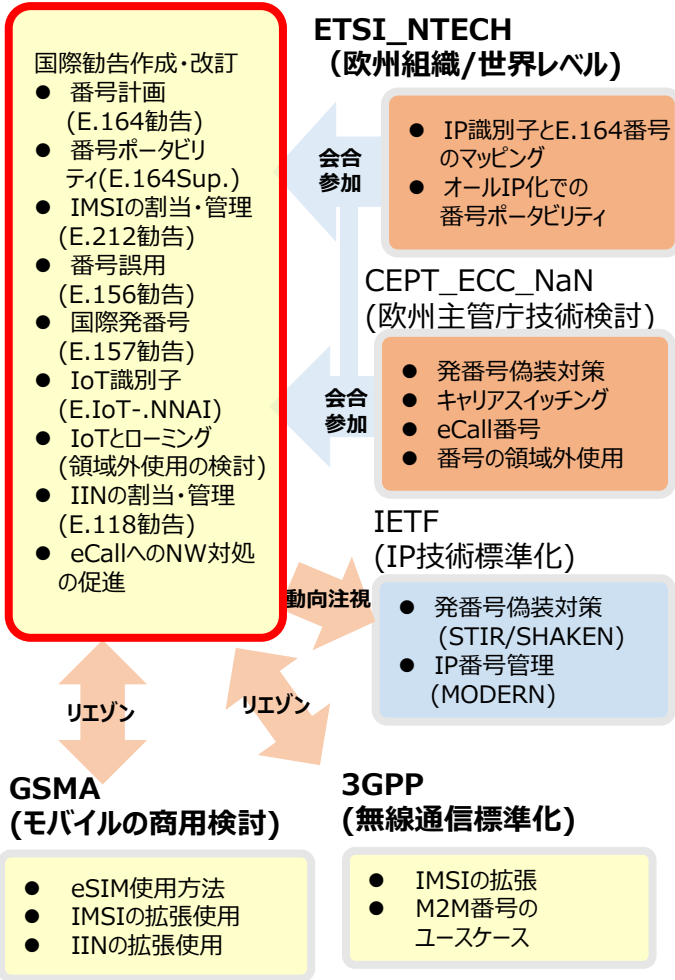
- eSIM使用方法
- IMSIの拡張使用
- IINの拡張使用

3GPP
(無線通信標準化)

リエゾン

- IMSIの拡張
- M2M番号のユースケース

ITU-T SG2
(電気通信番号の標準化)



重点取り組み	①IoT番号に関する新規勧告E.IoT-NNAI（Numbering Naming Addressing Identification）作成に関して、更に議論が活発化する見込みであり、その動向を注視し報告するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施する。 また、引き続き、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等を通じたアップストリーム活動を実施する。 ②IoT/M2M番号の普及に伴い、グローバルレベルでの番号の領域外使用が顕在化するなど、勧告E.164だけでなく勧告E.212にも議論が及んでいることから、諸外国での番号関連議論について引き続き動向把握・報告を実施するとともに、必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施する。			
主な活動項目	概況指標	2018年度目標（当初計画時）	2018年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	2件	
	外部会合への 参加・連携状況	SG2：7月会合 ETSI：NTECH会合	SG2会合（7月）	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件 ※E.164番号に関するインストラクション（続編）作成について委員会で議論	0件/1件/0件 E.164番号に関するインストラクション（続編）作成についてTRを発行	
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	実施の予定	次年度開催に向け継続検討	
	記事投稿、講演会	適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿を予定	TTCLレポート4月号、10月号にSG2会合の開催状況の記事投稿	

重点取り組み	①今後重要なもの、影響のあるものとして、番号ポータビリティ、E.212勧告改訂、番号誤用・発番号勧告改訂、IoT識別子、IoTとローミング（領域外使用）、E.118勧告に加え、欧州で推進されているeCallへのネットワーク側の対処の促進の議論等があげられる。これらについて、H30年度内の第4回G2会合(H31年2月)に引き続き、第5回G2会合(H31年11月)の動向を注視し報告するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施する。また、引き続き、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等を通じたアップストリーム活動を実施する。 ②SG2のチュートリアル資料のTR化について、29,30年度制定した版の続編となる完成版について、年度内に出版のスケジュールで進める。また、セミナーを実施の方向で進めるとともに、適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿を行い、外部への普及を行う。			
--------	--	--	--	--

主な活動項目	概況指標	2019年度目標（当初計画時）	2019年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	-	
	外部会合への 参加・連携状況	SG2：11月会合 ETSI_NTECH会合 ECC-NaN会合(5月、11月) SG2会合（H30年2月）の報告		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※SG2のチュートリアル資料のTR化について、 29,30年度制定した版の続編として、年度内 に出版のスケジュールで進める。		
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	年度内に実施の予定		
	記事投稿、講演会	適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿 を予定		